

多田建設株式会社

企業概要

設立	1947年6月	資本金	3億円
所在地	本社：江東区大島	業種	総合建設業
代表	代表取締役社長 藤原 茂		
従業員数	270人（うち女性24人）		
事業内容	1. 建設工事の企画、設計、監理及び施工 2. 地域開発、都市開発、環境整備に関する企画及び設計 3. 不動産の売買、賃貸、仲介及び鑑定等		



<ポイント>

○企業の取組

- ・女性技術職が毎年採用され、現場などで活躍している
- ・育休取得後に復帰した女性社員もいて、両立支援策が充実しつつある
- ・ハード面では女性更衣室や女性専用のトイレなどを整備
- ・何でも言える職場環境が、本人のモチベーション向上に寄与している

○女性技能者からのメッセージ

キッチン周りなど、女性ならではの視点で快適な住空間を提供できる仕事

企業の取組

管理本部総務部部長 諏訪 泰正氏



技能系女性従業員の採用

今年は17人中女性の採用は2人でした。その中で技術系女性を1人採用しました。毎年大学生と高校生をそれぞれ採用しており、その中には女性も2～3名程度います。高校生は工業高校が中心で、建築系出身が多く、全て先生の紹介です。大学生は、学校の合同企業説明会に当社がよく参加しており、その中で興味を持った人が入社試験を受けにきます。地方大学の説明会にも出かけています。

特に男女の意識はしておらず、やる気で判断しています。また当社は地方出身の人が多く、社員の出身高校の後輩が入社してくるケースが多いです。地元出身の先輩が社員にすることで、ご両親も安心されるようです。

技能系女性従業員の活躍推進、育成

技術系女性従業員の内訳は、積算業務に3人、設備に1人、現場に2人、技術部に1人います。現場のうち1人は1級建築士の資格を持っています

現場は男性の作業者が多く、現場の管理をするのが難しい場合もあるかもしれません。

ただ女性は男性に比較し、コミュニケーション能力が高いところが強みだと感じています。当社としては今後、女性が現場に数多く入ることを想定し、トイレや更衣室などの環境整備に力を入れていきたいと思っています。

一方で、当社は女性従業員のみを対象とした教育や育成プログラムは持ち合わせておらず、男女のわけ隔てなく教育しています。昇進や昇格は本人のやる気次第だと思います。ただ、今のポジションに満足している人が多いように感じます。当社では、キャリアを積んで管理職を目指したいという意欲がある人にはチャンスを与えますし、しっかりサポートしたいと考えています。

育児休業に入った女性の代替要因確保のため、以前は派遣社員を雇っていました。現在、総務にいる育児休業から復帰した女性社員は、最初の3ヶ月は時短勤務をしましたが、今ではフルタイム勤務になっています。女性の場合は出産、育児というライフイベントがあるため、会社としても両立を支援しなければならないと感じています。

技能系女性従業員の定着に関する取組

当社は自己申告制度を導入しており、面接時などに本人の希望をできるだけ聞くようにしています。またハード面では、女性専用の休憩室やトイレ等もかなり整備しました。

具体的な両立支援策は、短時間勤務制度や介護休業制度です。今後も女性社員が増加することに伴い、結婚、出産を経ても継続勤務ができるよう、制度だけではなく職場風土も変えていきたいと思っています。前述の総務部で育休を取得して復帰した女性に対しては、「必ず戻ってくれよ!」と周囲のメンバー全員で伝えたこ

とで、本人も意気を感じて復帰してくれたもの
と思っています。

総務であれば比較的育児短時間勤務が可能
な一方、現場の女性社員は工期の問題で短時間
勤務が難しいとも感じています。その辺りが今
後の課題と認識しています。



自社の優れた取組

・ちょっとした取組、魅力や工夫

大学説明会で、当社の話に関心を寄せて応募
してくる学生は多いです。毎年女性技術職を複
数名採用し続けていることが奏功しているよ
うに感じます。大勢の男性の中で女性1人とい
う職場は、やはり敬遠されると思います。一定
割合の女性社員がいると、皆さん応募される
と思います。最近、学生の中でも建築系を指
す女性は増えているような気がしますので、な
おさらそう思います。優秀な学生さんが集ま
る会社になりたいと思っています。

今後業界で女性がもっと採用され、活躍して いくために必要なこと

業界全体で環境整備が必要だと思います。現
場の女性専用更衣室、トイレ（男女別）など
のハード面もさることながら、男性中心のコ
ミュニケーション方法の改善なども必要だ
と思っています。ただ、昔に比べれば随分良
くなっているとは思っています。

業界への就職を検討している女性へのメ ッセージ

正直、仕事はきついと思います、しかし当
社は社内で助け合い、励まし合う雰囲気や環
境が整っていると思います。かつて3K業種
と揶揄されましたが、今ではかなり改善
された業界です。また、自分が好きな仕事
であれば、やりがいを見いだせると思いま
す。当社に興味があればぜひ来て欲しいで
す。土木・建築の現場を希望する女性社員
も増えてきていますし、やる気や情熱があ
れば、男女関係なく採用します。昔に比べ
れば管理職世代の意識も随分変わってい
ますので、大変魅力的な業界だと自負して
います。

従業員の声

入社9年目 石亀さん

担当している業務：建築部積算担当

入社したきっかけ

住宅関係のチラシや雑誌を見るのが子供の頃から好きでした。部屋の模様替えなどを趣味としています。また、キッチンスペシャリストをテレビで見て興味を持ちました。そうした背景もあり、工業高校で建築を学び、施工に興味を持つに至りました。

就職に関しては、大学の求人を見て、実際に説明会に来てくださった方の熱意で入社しました。大学（建築科）の授業で積算を履修し、自分のやりたい仕事の募集があったため、これはピッタリの仕事だと思い応募しました。

大学の友人なども建築業界に就職している人が多く、建築に携わっている人はわりと多いと思います。建築学科を出たらやはりこの業界に入りたいと思います。



現在の仕事内容

最初に配属されたのは工務審査部（3ヶ月）で、次が支店での積算課（1年）です。その後現場（1年）を挟んで本社での積算業務に従事しています。まずは専門用語をしっかりと覚えたいので、支店勤務など現場を経験できたことがとても良かったと思います。

この仕事のやりがいは、図面上で書いたもの

が、実際に立体的に仕上がるのを見ることです。

最初の仕事は内部（クロス・壁紙など）でした。壁紙などは目に見えるので分かりやすかった反面、その後に異動した構造（コンクリート・鉄筋）の数量拾いは、目に見えない箇所でもあり日々苦勞しました。その後積算の仕事に就いていますが、どれだけの材料が必要か等、実際の現場経験がとても重要だと感じます。

今後やってみたい仕事は現場管理です。職種でいえば、今の積算も好きな仕事ですが、現場に出るのも好きです。今は現場に出ている女性社員もいますので、もう1回現場に出たいと思っています。

働く環境

以前は女性社員が本社で3名くらいでしたが、最近は女性社員も増えてきて、13名ほどいます。女性更衣室もあり、そこで違う部署の女性社員とコミュニケーションを取っています。最近は女性社員だけの飲み会も行っており、情報交換をしています。

改善して欲しい点は、建築業界全体がまだ男社会で、「女性は結婚したら退職する」という見方をされている点です。そうした男性社員の意識は変わって欲しいと思います。

一方で、今の働き方を見ていると、技術部門は顧客からの急な依頼が多く、自分が結婚、出産して短時間勤務をしながら業務をこなすのはとても不安です。営業が良い物件を見つけてきて、積算を依頼されるが、案件が重なってしまふと残業せざるを得ず、業務負荷がかかりません。自分が今の業務で両立できるか不安です。総務部には育休から復帰した方がいます。育休取得後復職した方は私が入社してから初めてでした。こうした方が会社のロールモデルとして活躍して欲しいと思います。

また、男性と同じようなキャリア支援が重要だと思います。最近は施工図やCADなど、現場若手社員向けの研修などに女性も参加できる

ようになっています。女性の図面担当者（1級建築士）が講師を務めたのがきっかけです。

直接仕事に必要でなくても、様々な業務ができるよう、会社も支援して欲しいと思います。

教育・研修と今後取り組みたいこと

今まで受けた研修は、施工図、CAD研修です。最初はOJTから始まり、社内向けの現場見学会、工場見学会などに行かせてもらいました。現場にいた時は、現場作業4人で2棟建て物件の配筋写真を撮影し、図面渡し等を学びました。所長が懇切丁寧に教えてくれます。

私は係長という立場なので、後輩を現場に連れて行き、勉強させたいと思っています。

女性の強み・弱み

男性が気づかないところに良く気がつくのは女性の強みだと思います。また、技術系の女性は芯があると思います。周囲に流されることなく、自分がやりたいことをやっている人が多いように感じます。大学時代もそのような考え方が多かったように思います。ただ、会社において、女性は立場的に弱いです。キャリア意識も男性ほど高くないと思います。男性と比較し、出産で1年休業すると、本当に職場復帰できるのか不安な面もあるため、ライフステージで変化が出やすいと思います。

これまでの成功・失敗体験

成功体験としては、2年前に係長に昇格しました。失敗体験については積算のミスです。忙しい時は積算専門の事務所に依頼していましたが、自分の確認ミスで過去に失敗したケースがありました。

今後の女性活躍

・今後この会社で女性が活躍していくために必要なこと

何か問題が発生した際、上司に言いやすい環

境が重要だと思います。私の周囲は何でも言える環境で助かっています。また、上司に娘さんがいると更に話しやすいと思います。入社した当時は、上司に言いやすい環境ではなかったです。

この会社で女性が活躍していくためには、ライフステージが変わってもキャリアを継続できる環境が必要だと思います。両立支援が浸透し、ロールモデルなどが数多く出てくると、専門職や技術職の女性が増えると思います。

・今後社会で女性が活躍していくために必要なこと

建設業で主にマンションを建てることは、人間生活にとって不可欠な要素です。引き渡しの際、購入者から喜んでもらえる瞬間は至福の時間です。この仕事をしていて良かったと思える瞬間です。人に快適な住空間を提供できる今の仕事にはとてもやりがいを感じています。キッチン周りなど女性の方が得意な分野は多いので、住環境に興味のある方はぜひチャレンジして欲しいと思います。